

(一社) 日本建設機械レンタル協会<関西支部>

## (国交省) 近畿地整要請による コロナ禍における“避難所設営訓練”

関西支部(支部長 北野一雄氏)は近畿地方整備局の要請により9月29日(火) 13:00~15:30 コロナ禍避難所設営訓練(摂津市立子育て総合支援センター)に参加出席した。関西支部より(株)カナモト、西尾レントオール(株)、北野建機(株)、支部事務局が出席の上自走式仮設トイレトカーの展示と説明をした。主催は摂津市で出席参加協力として国交省近畿地整、大阪府危機管理室、美鈴紙業(株)(ダンボールベッド)、(一社)日本建設機械レンタル協会(関西支部)(トイレトカー)、東京大学教授、日本赤十字社北海道看護大学教授、摂津市職員、防災サポート(市民)

合計数 50名

今回訓練の課題

- ・避難所の感染症対策が万全かどうかの確認ができていない。  
(現在、避難所運営マニュアル策定中)
- ・避難所生活ではダンボールベッドの活用が重要であるが、災害時に避難者自身でダンボールベッドを組み立ててもらふ際に、手順を説明できるリーダー役が非常に少ない。
- ・3密を回避した避難所の設営を体験したことがないため、万全な感染症対策を講じることができるか不安である。
- ・避難所でのトイレ不足を補うために設置する「快適トイレ」の機能や使用方法等を把握できていない。
- ・災害時にダンボールベッド等の搬入が可能かどうかの経路確認が出来ていない。  
(現在、業者と協議中)

以上、各課題に対応の為の訓練を実施

- ①ダンボールベッド搬入組立て訓練を実施
- ②避難者に正しく説明出来るスキルを習得
- ③避難所の設置(ダンボールベッド配置等)においてコロナ感染症対策万全かを確認
- ④「快適トイレカー」の機能や活用方法を確認

以上の各訓練を実施して課題を把握することで避難所運営マニュアル(ガイドライン)のブラッシュアップにつなげることとする。

関西支部として④のトイレトカーの展示と(西尾レントオール(株))西村部会長の挨拶とトイレトカーの説明を(株)カナモト(メーカー)がした。

今回の参加は(一社)日本建設機械レンタル協会並びに関西支部として大いなるアピールとなった。次回は11月~12月に万博公園での訓練に参加要請があった。



(参加した関西支部の皆さん)



(訓練中の様子)